



## グラフで見る 沖縄振興の成果と課題

昭和47年の復帰当時の沖縄は、社会・経済のあらゆる面で本土と著しい格差がありました。道路、港湾、水道、住宅などの社会資本が不足し、医療、教育などの生活基盤、経済発展にとって不可欠な産業基盤の整備も遅っていました。

この50年で、沖縄の社会資本、産業基盤は着実に整備され、沖縄は着実に発展してきました。政府は5次にわたる振興計画や各種の特別措置等を講じ、その取組を後押してきました。一方で、一人当たり県民所得の向上、子供の貧困の解消など、今なお残された取組課題があります。

復帰時と最近の比較  
■ 沖縄  
■ 全国

